「新指定・新登録」答申物件

《特別史跡名勝天然記念物の新指定》

【特別史跡】　１件

「昭和２０年（１９４５）８月６日、広島に投下された原子爆弾により被爆した建物」

１　原爆ドーム（旧広島県産業奨励館）【広島県広島市】

昭和２０年（１９４５）８月６日、アメリカ軍が投下した原子爆弾により被爆した建物。大正４年（１９１５）の建築で、昭和８年（１９３３）に広島県産業奨励館と改称。

被爆当時の姿をよく保ち、第二次世界大戦末期に人類史上初めて投下された原子爆弾の惨禍を示す、被爆遺構の中でも象徴的存在。

提供：広島市

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】　６件

「加賀・越前の国境近くに位置し、戦国期の加賀国支配をめぐる攻防が繰り広げられた城跡」

１　大聖寺城跡【石川県加賀市】

戦国期から織豊期にかけて加賀国支配をめぐる攻防が繰り広げられた城跡である。当初一向一揆勢力の拠点であったが、越前朝倉氏・織田氏・豊臣氏の支配拠点となった。

北陸における戦国期の政治状況の変化を知る上で重要。

提供：加賀市

「現生人類の日本列島への拡散の実態を示す、後期旧石器時代初頭の遺跡」

２　香坂山遺跡【長野県佐久市】

関東山地の北端に位置する八風山の山腹、標高約１，１００ｍに立地する後期旧石器時代初頭（約３．７万年前）の遺跡。礫群とともに、石刃、尖頭形剥片、刃部磨製石斧が出土した。石器群の内容から、周辺大陸との関係をうかがわせ、現生人類の日本列島への拡散を示す遺跡として重要。

撮影：佐久市

「伊勢盛時（宗瑞）により伊豆国の要衝に築かれ、後に北条領国西側の拠点となった城郭跡」

３　韮山城跡　附　付城跡【静岡県伊豆の国市】

１５世紀末頃に小田原北条氏の祖、伊勢盛時（宗瑞）が伊豆国の本拠として要衝地に築き、後に北条領国西側の拠点として機能した城郭跡。周囲には、天正１８年（１５９０）に豊臣秀吉が韮山城攻略時に築いた付城跡が残っており、戦闘状況が判明する遺跡として重要。

提供：伊豆の国市

「織田信長が明智光秀に命じて築城させた織豊期城郭の実態を知る上で重要な城跡」

４　坂本城跡【滋賀県大津市】

織田信長配下の武将である明智光秀の居城であり、延暦寺等への監視拠点として、琵琶湖を通じた京への流通拠点に築城された政治的、軍事的、経済的に重要な城跡。本丸の礎石建物跡や三ノ丸の石垣が良好に残っており、織豊系城郭の立地や構造、築城技術等を知ることができる。

提供：大津市

「西遷御家人の相良氏の惣領多良木相良氏による地域支配や開発の様子を具体的に示す遺跡群」

５　多良木相良氏遺跡【熊本県球磨郡多良木町】

幕末まで続く相良氏の最初の本拠地であり、肥後国球磨郡に入部した西遷御家人の地域支配や開発の様子を示すとともに、現存する寺社や仏像、豊富な文字史料等と発掘調査の成果から、相良氏の惣領、多良木相良氏の動向を具体的に知ることができる重要な遺跡群。

提供：多良木町

「首里と那覇を結ぶ地に位置し、歴代琉球国王の位牌を祀り、国廟と位置付けられた寺院跡」

６　崇元寺跡【沖縄県那覇市】

首里と那覇を結ぶ地にあり、歴代琉球国王の位牌を正廟（本堂）に祀り、国廟と位置付けられた臨済宗寺院の跡。１５世紀～１６世紀初の創建と伝わる。明・清からの冊封使を迎え先王の霊を祀る儀式（諭祭）を行った。琉球王国の正統性を示す儀式の場であり、琉球王国の王廟のあり方や祭祀の様相を知る上で重要な遺跡。

提供：那覇市

【天然記念物】　１件

「かつて日本列島に生息していた大型のワニ類の全身骨格化石標本」

１　マチカネワニ化石【大阪府豊中市】

今から５０～４０万年前のある時期に日本列島に生息していた大型のワニ類の絶滅種の全身骨格標本。昭和３９年５月に大阪大学豊中キャンパスの粘土層（約４５万年前：新生代第四紀更新世チバニアン期の大阪層群）から発見された。

提供：大阪大学総合学術博物館

《登録記念物の新登録》

【名勝地関係】　６件

「金沢城下の鞍月用水を取り込んだ藩政末期の形式を伝えると考えられる庭園」

１　平木氏庭園【石川県金沢市】

金沢城下南方の菊川にあったかつての足軽組地（足軽の集団居住地）の上主馬町に位置し，正保年間（１６４４～１６４８）に完成したと伝わる鞍月用水沿いに所在する藩政末期頃の庭園で，用水を取り込んだ背戸の構成をよく伝えていると考えられる事例として意義深い。

提供：金沢市

「大野庄用水を取り込んだ前庭と奥向きの平明な主庭から成る昭和初期の庭園」

２　山田氏庭園【石川県金沢市】

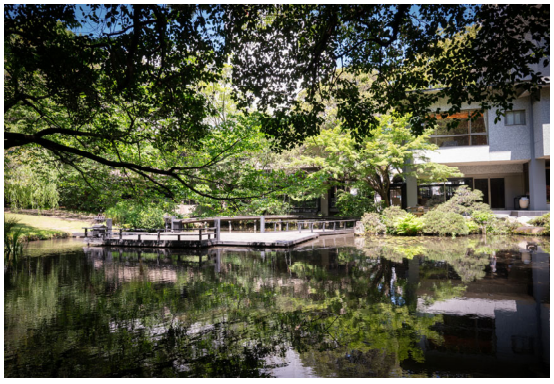
金沢城下西方の平士級武士の居住区であった長町に位置し，大野庄用水を取り込んで北東を表向きとして前庭を設け，主屋を挟んで南西の奥向きに主庭を配する近代住宅庭園で，昭和時代初期以降における金沢の庭園文化を知る上で意義深い。

提供：金沢市

「明治初期に徳川慶喜の邸宅にあった園池を元とする庭園」

３　浮月楼庭園【静岡県静岡市】

明治初期に徳川慶喜の邸宅にあった園池を元とし、今日まで伝えられてきた庭園。東西約４０ｍ、南北約２５ｍの園池を中心とし、昭和１５年（１９４０）の静岡大火や同２０年の静岡空襲などでたびたび建物が失われたが、戦後新たに建物が整備された。



提供：静岡保徳株式会社

「海運業等の会社の本店に、大正から昭和にかけて造られたと伝わる庭園」

４　旧八木商店本店庭園【愛媛県今治市】

海運業や水産業の会社であった八木商店の本店に、大正中期から昭和初期にかけて造られたと考えられる庭園。舌状に突き出た山の斜面の裾に造られ、山上からの眺望も優れる。園内には巨石を配し、飛石の園路をめぐらす。

提供：藤高興産株式会社

「明治中期に炭鉱経営者によって造られ、昭和中期に現在の形に整えられた庭園」

５　旧豊山閣庭園（旧旅館田川）【福岡県北九州市】

明治２０年代に炭鉱経営者が造営し、その後昭和中期に現在の形に整えられたとされる池泉庭園。東西約４０ｍ、南北約２０ｍの園池を中心とし、多数のマツ類が植栽されている。昭和３０年代に園池の西側に数寄屋風の離れが建てられた。

提供：アートホテル小倉ニュータガワ

「昭和４５年に開園した民間植物園のトックリヤシの並木とユスラヤシの林の風致景観」

６　東南植物楽園【沖縄県沖縄市】

沖縄本島中部に位置する昭和４５年（１９７０）に開園した民間経営の植物園で，創業以来の区域にトックリヤシの並木とユスラヤシの林が印象的な風致景観を成している。

提供：東南植物楽園